

二〇二二年度入学試験問題

国語 (六〇分)

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、問題冊子は開かないでください。
- 二、この問題冊子は25ページあります。試験中、ページの脱落等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 三、解答用紙(マークシート)の汚れなどに気づいた場合も、同様に知らせてください。
- 四、解答用紙(マークシート)は折り曲げたり、汚したりしないでください。
- 四、解答は、すべて解答用紙(マークシート)に記入し、解答用紙(マークシート)の枠外には、なにも書かないでください。
- 五、解答番号は、1～39まであります。
解答用紙(マークシート)には、問題番号が1～50、選択肢が①～⑩まで印刷されていますが、解答にあたっては、各設問に指示された選択肢の数の中から選んで解答してください。
- 六、マークは必ずHBの黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、完全に消してからマークしてください。
- 七、監督者の指示に従って、解答用紙(マークシート)に解答する科目・受験番号をマークするとともに、受験番号および氏名を記入してください。
- 八、解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
- 九、試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問題一 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

北アルプスに位置する立山連峰。富山平野からも、すつくと屹立する雄姿を望むことができる。それがそのまま、山の名前となった。筆者が友人二人とともにここを訪れたのは、九月上旬にしては珍しいほどのさわやかな好天の日であった。立山には、富山市街から常願寺川沿いに鉄道とバスが整備され、いまでは室堂平まで容易に至ることができる。しかし、かつてひとびとはこの道を、ひたすら歩いて頂上を目指した。

富山平野のエンペンブが、山間部からスカートのように延びた扇状地の突端と交わるあたりには、かつての岩峠寺(雄山神社前立社壇)がチンザしている。ここで参詣者はまず、みそぎを行って身を清めた。ここからすでに、立山登山は始まっている。周辺にはいまでも旧道や宿坊の跡がみられ、かつての面影を残す。しかしいまでは、登山者の多くは頂上を目指して先を急ぎ、この地をスドオリしてゆく。

やがて山間部に入ると、次の重要なポイントは芦峠寺である。ここには富山県の立山博物館もあり、いまでも観光地として知られている。やはり優雅な庭園を備えた宿坊跡などが公開されており、かつて立山登山のベースキャンプとして栄えたことを物語る。しかし、登山鉄道はさらに奥まで続き、ここで途中下車して信仰登山時代を偲ぼうという人も、いまはそれほど多くない。

鉄道の終点からバスを乗り継いで室堂ターミナルに着くと、高原のむこうには立山三山が朗と聳えていた。よく整備されたトレッキングコースに導かれながら、少しずつ沢へと向かって下ってゆくと、みくりが池に着く。『日本百名山』の中で深田久弥(注)は、この池について、

昔、ある僧が人の留めるのもきかずこの池で泳いだ。最初は懐剣を口にくわえていたので無事だったが、池を見くびってそれ無しで泳いだところ、一巡り、二巡り、三巡り目に、池の中心深く沈んだまま遂に現れなかった。三練ヶ池という名はそこから出たという。

というエピソードを紹介している。しかし本来は、べつの由来がある。たとえば、「御厨」といえば神仏へのクモツを調理する施設であり、これに付属する池として水を供給したものかもしれない。穢れを落とし身を清めるための行水を意味する「垢離」に美称の「み(御)」がついて「みこり」となり、転訛していまの呼称となったというのも一案だ。

ともあれ、前近代においてここ室堂の地は、心地よくロマンチックな高原などではなく、いよいよ神の山に登るための準備をする、厳粛なベースキャンプの一つであった。「室堂」という地名もまた、厳しい自然環境の中でひとびとがよるべとした、参籠のための小屋に由来する。ここには現在も、オウジの参詣に使用された江戸時代の建物が残り、国の重要文化財に指定されている。現代のわれわれにヨーロッパアルプスを連想させるようなこの景色も、前近代のひとびとには異なる趣きを湛えた風景と映ったことだろう。

雷鳥沢キャンプ場に一泊した筆者のグループは、夕暮れ時には五羽もの雷鳥の群れ(家族だろうか?)が通り過ぎるという山の歓迎を受けながら仮眠し、深夜午前三時すぎに登山を開始した。別山↓富士ノ折立↓大汝山↓雄山と北西から南へ向かって縦走するコースを歩き始め、尾根筋に出て西の方向を見ると、富山市方面の市街地の灯も目に入る。中世の山林修行者もまた、このあたりから里の遠景を眺めていたはずである。

市内から立山連峰を望むことができるのであってみれば、こちらからも市街地が見えるのは、いわば当然だ。ところが、ふだん都会に暮らす筆者のような人間にとつて、立山のような霊山はやはり「異界」である。いったんこう思いこんでしまうと、下界から隔絶したイメージばかりがフクらんでしまい、じつは山が人の住む領域と連続していることを忘れてしまいがちである。だが、こうして実際に三山の尾根筋に立ち、その視界の内にかとひとびとの営みを捉える時、筆者はいつしかここまでの道のりを思い出し、立山が裾野を経て人の生活領域と地続きであることを改めて実感することができた。この感覚は、山の宗教の長い歴史を考えようとする本書において、もっとも大事にしてゆきたいものの一つでもある。

夜がすっかり明けると、一番南に位置する雄山の山頂までもが雲間に姿を現し、眼下には室堂平の谷に広がるカラフルなテントの群れが点々と色を添えている。やがて剣御前小舎にたどり着くと、朝日に照らされて輝く剣岳の奇怪な山容が迫る。ご来

光には間に合わなかったが、別山山頂では自らの影が七色の円光を帯びて、ブロッケン現象を体験することができた。これはご承知のように、山頂で太陽を背にして霧などに映った自身の影の周囲に、色のついた光の輪が見える自然現象である。

あとで調べてみると、北日本新聞の記事が目にとまった(二〇〇九年七月二十八日)。それによれば、江戸中期に立山で発生したブロッケン現象を、極楽浄土から阿弥陀三尊(注2)あみださんだが現れる「来迎」らいごうの姿として描いたとみられる掛軸が、金沢市かなざわの妙慶寺みょうけいじで発見されたという。その裏書には、僧侶ら三人が立山の二ノ越に登り、絵のような来迎を拝んだと記されていた。立山博物館は、「ブロッケン現象と立山来迎信仰を、直接結びつけるシリョウkウが確認されたのは初めて。非常に価値が高い」とコメントを寄せている。山に現れた自然現象に対して、前近代のひとびとが宗教的によごのような解釈を施していたのが、よく分かる発見である。やがて大汝山を経て雄山の山頂にたどり着いた時には、すでに時計の針は正午に近くなっていた。反対側のルートから登ってきた参拝客と合流すると、おりからの好天も花を添え、狭い山頂はひととき賑わいにぎわいをみせている。雄山神社に参拝して神職からそのいわれを拝聴すると、御神酒おみきとお札を拝受して山頂を後にした。

日本を代表する霊山立山には、随所に信仰登山時代の面影を見ることができるといえる。しかし筆者が見る限り、いまでは登山者の多くは霊山ではなくアルプスに登る気分mでここを訪れていた。同じ山でも、登る時代や人の気分によって見え方もさまざまである。そのことも含めて、やはり現地mに立つてみて実感することや、はじめて気づくことは多くあった。

山を神々の坐います神聖な異界と感いじてその頂を目指す伝統的な信仰登山は、いまなお続けられている。いっぽう現代を生きる我々にとって、山は自然に満ち溢あふれたストレスフリーでさわやかな空間、という意味でも異界である。このように登山に対しては、近代に入ってからロマンティズムやエコロジー、ニューツーリズムといった、現代社会に直結する価値観が積極的に加えられていった。

大正末年から登山を始めた深田が、戦後における登山ブームと急激な近代化に目を見張り、いっぽうでその状況を寂しく思いつつも『日本百名山』を上梓じょうししたのは一九六四年、東京オリンピック開催を三ヵ月後に控えた初夏のことである。その深田自身も、抹香臭い信仰登山より、じつはアルプスの山々に思いを寄せ、山で青春を謳歌おうかせんとする新しい世代に共感していた。この

ころに、いまを生きるわれわれの登山観が確立するとともに、信仰登山は水面下に沈んで山の宗教の系譜は見えにくくなった。

(菊地大樹「日本人と山の宗教」による)

(注) 1 深田久弥……小説家、山岳紀行家(一九〇三—一九七二)。戦前から山岳紀行文を多く書き、ヒマラヤ、シルクロード研究でも知られる。

2 阿弥陀三尊……仏教における仏像安置形式の一つ。阿弥陀如来を中尊とし、観音菩薩と勢至菩薩を左右の脇侍とする様式。

問一 傍線部 a「屹立する」とあるが、問題文中で使用されているこれと似たような意味の語句はどれか。次の 1～4 のうちから

最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 1。

1 望む

2 聳え(る)

3 隔絶(する)

4 迫る

問二 傍線部 b・c・e・f・g・j・k と同じ漢字を含むものはどれか。次の 1～4 のうちから最も適当なものをそれぞれ

一つずつ選びマークしなさい。解答番号は 2 8。

b「エンペンブ」

1 彼は部長とケツエン関係にあるそうだ。

2 課長は口うるさいので、周囲からはケイエンされている。

3 駅でのキツエンは全面禁止になっておりますので、ご注意ください。

4 台風接近のため、ラグビーの全国大会はエンキされてしまった。

c「チンザ」

- 1 チンモクは金、雄弁は銀という格言がある。
- 2 オスの三毛猫は、めったにいないのでチンチョウされている。
- 3 現在の経団連の会長は、経済界のジユウチンとして発言力がある。
- 4 弊社社員が今回のような不祥事を引き起こしたことをチンシャいたします。

e「ストオリ」

- 1 河口近くのサンカクスは土地がこえているので農業用地として活用されることが多い。
- 2 この本はスガオの日本を紹介しているので、外国人観光客に人気がある。
- 3 野鳥用のスバコを作った。
- 4 健康によいからといってスをとりすぎるのはよくない。

f「クモツ」

- 1 長い人生だから、時にはダキョウすることも必要だろう。
- 2 あの高校は、三年前に男女キョウガクになった。
- 3 年賀状にはよく「キョウガシンネン」ということばが使われます。
- 4 この旅番組のテイキョウは大手旅行会社です。

g「オウジ」

- 1 人間ドックの受診前に、キオウシヨウについて聞かれた。
- 2 契約書などではオウインすることが求められる。
- 3 彼女は留学のために数日前にトオウした。
- 4 彼は公金をオウリヨウして逮捕された。

j「フクらんで」

- 1 冬山に一人で登るなんてムボウだよ。
- 2 彼は秋に行われる学園祭の準備にボウサツされている。
- 3 昨年の大雨の被害者はボウダイな数にのぼった。
- 4 彼女は後輩の面倒をよく見るので、社内でジンボウを集めている。

k「シリョウ」

- 1 彼は、銀行を舞台にした小説を書いている作家にシシユクしている。
- 2 彼女は、文学部のシガクカを卒業した。
- 3 研究会は、主催者の弟子のシカイで始まった。
- 4 サッカー部は、後半の終了直前に得点をあげ、イッシを報いた。

問三

傍線部d「ここからすでに、立山登山は始まっている」とあるが、この登山はかつてはどのような登山であったか。次の1

- 1 伝統的な信仰のための登山。
- 2 ヨーロッパアルプスに登るような気分での登山。
- 3 ロマンチックな高原などをトレッキングするような登山。
- 4 ロマンティシズムやエコロジーなどの現代社会に直結する価値観が積極的に加えられた登山。

9。

問四

傍線部 h「異なる趣きを湛えた風景」とあるが、具体的にはどのような風景と感じられるものであったか。次の 1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 10。

- 1 よく整備された、立山観光のベースキャンプ。
- 2 江戸時代の建物が残るような古くさい地。
- 3 さまざまな伝説が残るみくりが池のある地。
- 4 神の山に登るための準備をする厳粛なベースキャンプ。

問五

傍線部 i「異界」とあるが、この場合の「異界」とはどのような場所か。次の 1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 11。

- 1 神々の坐す場所。
- 2 市街地から遠く離れた場所。
- 3 裾野を経て人の生活領域と地続きの場所。
- 4 穢れを落とし身を清めるための垢離をする場所。

問六

傍線部「山に現れた自然現象に対して、前近代のひとびとが宗教的にどのような解釈を施していたのが、よく分かる」とあるが、どのように解釈していたのか。次の1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は

12。

1 極楽浄土

2 ご来光

3 来迎

4 霧などに映った自身の影の周囲に、色のついた光の輪が見えること

問七

傍線部m「現地に立ってみて実感することや、はじめて気づくこと」とあるが、筆者にとっては、たとえばどのようなことか。次の1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 13。

1 芦峯寺は、かつて立山登山のベースキャンプとして栄えていたが、現在も観光地として知られていること。

2 雷鳥沢には雷鳥が多く生息していること。

3 立山に登ることによって、登山ブームと急激な近代化に目を見張った深田久弥の心情が理解できること。

4 中世の山林修行者も尾根筋から里の遠景を眺めていたに違いがないということ。

問題二 一次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

一九四五年八月一日、日本は戦争と飢餓とに打ちひしがれた非常時に、とりあえずのシユウシフ^aを打った。「非常時」とは、すべての国民が、等しく明日の命が保証されない状態を指す、と考えておこう。爆弾、機銃掃射、焼夷弾^{しょういだん}などから命を守らなければならぬ事態は、八月一日を以て一応解消されたのである。

しかし、飢餓との戦いは、その後も続いた。政府が配給によって保証してくれる食料だけに頼っては、生き続けることができな^bいことを、判事山口良忠氏は身をもって証明してみた。敗戦後二年経ったころのことである。戦後間もなく、小学校の国語の教科書に載った宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の一節、「一日ニ玄米四合ト、味噌ト少シノ野菜ヲタベ」のくだりは、実は「玄米三合ト」に改められていた。念のために書くが、今の日本人の平均コメ消費量は、一日一合強であるが、その感覚でこの詞文は読ま^cないで欲しい。その間にも、コメ寄せデモは、あちこちで起こり、為政者への激しい怒りを「朕はタラフク食つてゐるぞ、汝人民飢えて死ぬ」というスローガンにぶつける人々まで現れたが、山口判事はいわば例外で、大半の人々は、政治に頼ることなく、自らの才覚で、闇市場に流通する高額の闇米で、辛うじて命を繋いだ。A、先の「非常時」の定義は、ここでは当て嵌まらないかもしれない。さらに言えば、闇市にコメを流して、あるいは、都会からやってくる「タケノコ生活」の人々からの貢^{注2}ぎ物で、大儲けをする農家も、国民の一人だったからだ。いずれにせよ、米穀通帳に象徴される、食糧管理法に基づくコメの国家管理は、一九八一年まで続いたが、飢餓との闘いは、すでに、とつくに終わっていた。以来、日本社会は、「非常時」を知らずに来ることが出来た。

確かに、台風、地震を主とする自然災害には、毎年のように襲われた。しかし、すべての国民が等しく、明日の自分の生命を慮^{おもひんか}って行動しなければならぬような「非常時」は、まさしく二〇二〇年という年に、戦後初めて日本人が経験することになったのである。特に日本の場合には、海外からのクルーズ船の来航という、B 的な事態から、基本的には始まっただけに、為政者も、国民も、何がサイゼンの策であるか、という判断を下せない、宙吊り状況の中に置かれた。

いや、一つだけ、決定的に判^{わか}っている対策がある。言うまでもなくそれは「人—人感染」の機会を減らすこと、人間同士の接触機会を能^{あた}う限り減らすことである。この鉄則は、如何^{いか}なる時代、如何なる社会にあつても、感染症拡大の予防に普遍的に当て嵌まる。そして、そのためには、個人の行動に相当の制限を加えることができなければならない。

C、一四世紀半ば近く、全世界に蔓延^{まんえん}したペストは、歴史上「黒死病」の名で記録されるが、このとき、病原体のような概念は一切存在しなかった。病因説としては、大気の汚染（瘴^{しょうき}気説と呼ばれる）や、星の位置からの影響しかあり得なかった。因^{ちな}みに「影響」という言葉を使ったが、まさしくそれ^eが病因でもあった。というのは、星々から地上に「流入する」(influx)何ものかが、人間に「影響」(influence)を及ぼすからである。もう一つ付け加えればヨーロッパ語の「インフルエンザ」もまた、この言葉に直接負っている。

D、それはそれとして、しかし、何かが人から人に伝わりという事実は誰の目にも明らかであった。病因説としては、「伝染」という概念はないにもかかわらず、すでにこのとき、ペストが猖獗^{fしやうけつ}を極めていた地域から入港する船は、「四〇日間」港外に留め置かれる、という処置が生まれている。四〇日を表す語が、今ヨーロッパ語では〈quarantine〉として、検疫や隔離の意味で使われている。看護者は、病者の眼^めから何かが入るとして、眼を合わせないようなトクシユ^gなマスクをつけたりしている描図も残されている。また「ロックダウン」などの言葉は無論なかったし、私権^{うんけん}云々などというブレ^gーキもないままに、警察や軍隊に相当する強権力が、閉鎖社会を造り出すために機能したのであった。

E、このとき、病因説とは無関係に「人—人感染」の危険に対処しようとしていたことが判る。

現代においても、SARSやMERSの場合においても、「人—人」の接触を断つことが、最大の防御であることは証明済みであった。

しかし、それを現代社会において、徹底して実行することがどれほど困難であるか、それを私たちは今体験しつつある。その困難は、社会の構造から来る技術的な困難さでもある。現代社会において、人間のモビリティ^(注3)は、過去の如何なる時代と比べても、格段に大きくなっている。しかも、その大きさは文字通り「グローバル」である。しかも移動の自由は、自由社会において保障されている個人の権利の一つである。感染症の鉄則は、この点で最初のブロックにぶつかることになる。日本でも、政権側

者の立場からすれば、金銭補償がいくらあったとしても、それでことが割り切れるわけではない。ここには、I 防衛か、という永遠に解けない問題がある。今回のパンデミックでも、H 免疫が整備されるのを待つ前に、どれだけの I 防衛に力を注げるか、という点が、最もクルーシヤルな問題であろう。^(注6)

(村上陽一郎『COVID-19から学べること』による)

(3-7 国語)

- (注)
- 1 山口良忠……日本の裁判官(一九二二—一九四七)。終戦後の食糧難の時代に、闇市の食料を拒否し、配給食糧のみに頼り餓死した。
 - 2 「タケノコ生活」……たけのこの皮を一枚ずつはぐように、身の回りの衣類や家財などを少しずつ売って食いつないでいく生活。
 - 3 モビリティ……mobility. 動きやすさ、移動性、機動性の意。交通分野では、主に人が社会活動するために空間的移動をする能力を指す。
 - 4 パースペクティヴ……perspective. 問題とする事柄についての今後の予想や将来の見通し。
 - 5 ヴィルス……ウイルスのこと。
 - 6 クルーシヤル……crucial. 必要不可欠な、の意。

問一 傍線部 a・d・g・h・j と同じ漢字を含むものはどれか。次の 1～4 のうちから最も適当なものをそれぞれ一つずつ選

びマークしなさい。解答番号は 14 18。

a 「シユウシフ」

- 1 ダザイフ|天満宮にお参りする。
- 2 会員のフ|ホウをきく。
- 3 ピアノのガクフ|を買う。
- 4 オンヅ|を読むのが苦手だ。

d「サイゼン」

- 1 ゼンケイの資料を参照してください。
- 2 他人のゼンイを踏みにじってはいけない。
- 3 客のゼンを食堂に運ぶ。
- 4 ゼン問答は難解で真意が捉えにくい。

g「トクシユ」

- 1 原稿にシユヒツを入れる。
- 2 この短編小説はシユギョクの名作として知られている。
- 3 シユシヨウな心がけをしている生徒をほめる。
- 4 シユコウを凝らしたインテリアの店内に入る。

h「シキシヤ」

- 1 ヒヨウシキに注意して運転するべきだ。
- 2 キユウシキのしきたりに従うのは大変だ。
- 3 ソシキに入って活動する。
- 4 シキシに贈る言葉を書く。

j「チメイ」

- 1 オリンピックをユウチする。
- 2 チリヨクを競うゲームをする。
- 3 ケツゾクのつながりを尊重する。
- 4 この街はチアンも良く住みやすい。

問二 傍線部b「宮沢賢治」とあるが、宮沢賢治の作品ではないものはどれか。次の1～5のうちから適当なものを一つ選びマ

クしなさい。解答番号は 19。

- 1 なめとこ山の熊
- 2 赤い蠟燭と人魚
- 3 永訣の朝
- 4 風の又三郎
- 5 注文の多い料理店

問三 傍線部c「その感覚でこの詞文は読まないで欲しい」とあるが、それはなぜか。次の1～4のうちから最も適当なものを一

つ選びマークしなさい。解答番号は 20。

- 1 現代の日本人の生活のバランスから見ると、詞文の中のコメの消費量に違和感をおぼえることは必至であるから。
- 2 現代の日本人の多くは白米を常食にしており、玄米は一部の健康志向の人々によってのみ消費されているから。
- 3 現代の日本人の感覚では、玄米四合を玄米三合に改めた理由についてまったく理解できないと思われるから。
- 4 現代の日本人の感覚では、当時の理想的な農民の生活をうたいあげた賢治の詩精神を受け止めることは難しいから。

問四 空欄

A

C

G

ものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 21。 にあてはまる接続詞の組み合わせはどれか。次の1～4のうちから最も適当な

- 1 A それゆえ C 例えば D さて E つまり F あるいは G しかし
- 2 A したがって C そこで D ところで E だが F しかし G つまり
- 3 A つまり C 例えば D だから E そこで F あるいは G しかし
- 4 A だから C しかし D さて E すなわち F ところで G したがって

問五

空欄

B

にあてはまる語句はなにか。次の1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号

- 1 積極
- 2 公共
- 3 絶対
- 4 変則

問六

傍線部e「それ」とあるが、具体的にはなにを指すか。次の1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。

解答番号は 23。

- 1 病原体のような概念
- 2 影響
- 3 大気の汚染や星の位置
- 4 病因説

問七 傍線部 f「猖獗を極めている」とあるが、どういう意味か。次の 1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。

い。解答番号は 24。

- 1 風評被害が全体に蔓延していること。
- 2 はなはだしく残酷でいたましいこと。
- 3 極端な症例が次々とあらわれること。
- 4 はびこって猛威をふるっていること。

問八 傍線部 i「問題はそればかりではない」とあるが、具体的には「それ」以外にどのような問題があるか。次の 1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 25。

- 1 パンデミック下における私権の制限。
- 2 非常時下で人々が国家を頼りにすること。
- 3 経済構造において生じる生活の困難。
- 4 グローバル化による人間のモビリティの拡大。

問九 傍線部 k「不幸な例」とあるが、具体的にはどのようなことか。次の 1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 26。

- 1 ワクチン接種を望んでいないのに、社会に強制されて無理に接種させられること。
- 2 ワクチン接種をしたことで、それまで健康だった人間の健康が損なわれること。
- 3 ワクチン接種により、強制的に病気に罹らせられたとして被害を訴えること。
- 4 体質の問題でワクチンを受けられない人に対し、合理性を武器に差別すること。

問一〇 空欄 ・ にあてはまる語句の組み合わせはどれか。次の1～4のうちから最も適当なものを一つ選

びマークしなさい。解答番号は 。

- | | | | | |
|---|---|----|---|----|
| 1 | H | 社会 | I | 個人 |
| 2 | H | 個人 | I | 国家 |
| 3 | H | 政治 | I | 法律 |
| 4 | H | 全体 | I | 一部 |

次ページ以降にも問題があります。

問題三 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

幼稚園や小学校で、友だちと仲よく遊んだりするとき、「相手の身になりましょう」と言われたりします。けれど、そのことの大切さをよく考えたり、毎日の生活のなかでジッセン^aできているかどうかというところ、疑問が残ります。現代の社会は、意識して相手の身になるうとしなければ、相手の身にならなくても済んでしまう仕組みになっているからです。

一つは、競争社会という仕組みです。結果を出すことを問われる成果主義の現代社会では、まず自分が勉強して資格を取得したり、いい大学に入ったり、一生懸命働いてある成果を出すことが求められます。こうした社会を生き抜くには、相手のことなんて考えないほうがいいと言う人もいます。相手のことなんて心配していたら、競争に勝てないばかりか、自分が損してしまうという思い込みも広がっています。

もう一つは、言葉に偏ったコミュニケーション社会という仕組みです。今の若い人たちは、僕が若いころと比べると話が上手で、話題が豊富、発信力がある人が多いように感じます。すばやく反応して、文章を短くおもしろくまとめたりする力は、SNSで鍛えられているのでしょう。気のきいた話で、周囲をクスツと笑わせることができる人は人気者。子どもたちの世界のスクールカースト^bでも上位にクンリン^cできているのは、そういう人かもしれない。けれど、こうしたウケることを重視したコミュニケーションの陰で、自分の言葉をもつということと、相手の身になるという力は忘れがちになっているように思います。

そもそもコミュニケーションとは、言葉だけではありません。言葉はコミュニケーション全体のたったの七%といわれています。残りの九三%は、声の調子、顔の表情、視線、しぐさ、態度といった言葉以外のもの。僕たちは言葉そのものより、言葉以外のものから^d多くを受け取って、コミュニケーションをとっているのです。どんなにいいことを言っても、その人が踏ん返り返って^e横柄な態度でいたら、何か信用ができないと感じてしまうのは、そのためなのです。

SNSでのコミュニケーションのほとんどは、言葉に偏っています。どういう気持ちか込められているのか、細かなニュアンスを文字から読み取るのは、けっこう難しいもの。人によってはまったく逆の受け取り方をしてしまうこともあるでしょう。相

手の姿が見えないところで相手の身になるというのは、もともと難しいことなのです。

さらにコロナ時代になって、オンラインでのコミュニケーションが一気に進みました。画面越しに顔を見て会話ができたとしても、やはり直接会って話をするのとは違って、相槌がぶつかつたり、^g間合いが取れなかつたり、何となく話がかみ合わないような感じがします。特に、初めて話す人はストレスを感じるでしょう。こうしたオンラインでのやりとりは、コロナ後もある程度続いていくことが予想されます。

すると、今後も、SNSやオンラインでの発信力のあることが重視され、そうした能力をもった人が競争社会でも有利になっていくことは間違いありません。そうすると、^hますます相手の身になる力がないがしろにされてしまうのではないか。僕はこれをとても危惧しています。

コミュニケーションは、キャッチボールです。ボールを投げて取る、取っては投げる、この繰り返しで相手のことが少しずつわかってきたり、相手と自分の関係性が出来上がっていきます。それには、相手がキャッチできるようにボールを投げなければなりません。つまり、相手の身になって、相手に伝わるように話すことが必要になります。

けれども、SNSを中心にした現代のコミュニケーションは、キャッチボールではなく、自分がいかにすばらしいボールを投げられるかに終始しているように思えます。もともと不特定の相手に発信するSNSでは、誰にボールを投げているのかさえあいまいです。

自分が発した言葉に、誰かが「いいね」を返してくれたら、自分という存在も認められたような気分になります。この気持ちは僕もわかります。自分の言葉をわかってくれる人、賛同してくれる人の存在はとてもうれしい。そして、もっとおもしろいこと、もっと過激なことを書いてやろうというふうにエスカレートしていきます。ある意味楽しい気分になりますが、その言葉を受け取る相手のことまで考えている人はあまり多くないでしょう。

つらいのは、暴走する言葉をもろに投げつけられた人たちです。

(中 略)

ネットやSNSによる言葉の暴力は二四時間どこにいても続くので、逃げ場がありません。しかも何がきっかけでターゲットにされるかわからない。大人も子どもも、そんな生きづらい社会に生きています。

誤解のないように言いますが、僕はSNSが悪いと言っているわけではありません。SNSという難しいコミュニケーションツールを使いこなすには、もっと相手の身になる力をつけなければ、SNSという道具に振り回されてしまおうと言いたいです。

相手の身になるということは、相手に興味をもつということです。自分のほうから興味をもつと、たいていは相手もこちらに興味をもってくれます。それがきっかけで、お互いに話ができたり、わかり合えたりします。そう、相手の身になることは、人と仲よくなる近道なのです。

人にアピールする特技やすぐれたところがないと、友だちはつくれないのではないか。そんなふうに自信をもてないかもしれませんが、それは大きな誤解です。自分のほうから相手に興味をもつこと、そして、相手の身になってみることで、人と距離を縮めることができるのです。

相手の身になるということは、自分とは違う考え方、知らなかったことと出合うことでもあります。視野が広がり、自分が思っている「あたりまえ」ⁱがあたりまえではないことにも気づかせてくれます。世の中にはいろんな考え方があり、常識は一つじゃないと気づくことは、人間として豊かに成長していく上で欠かすことができません。

これから多様性の時代になるといわれています。多様性とは、いろんな個性、いろんな考え方もあった人たちが、それぞれ認め合いながら一緒に生きていくこと。そんな多様性を大事にする社会では、相手の身になる力がないと生き抜くことができないと僕は思っています。

そして、最も大切だと思うのは、暴走を防ぐブレーキとしての力です。コロナ禍であらわになったように、残念なことですが人間には人を誹謗^{ひぼう}チュウショウしたり、言葉の暴力を振るうイヤな一面^kがあります。けれど、相手の身になる力があれば、その方向に流されそうになる自分にブレーキをかけることもできるのです。お互いに傷つけ合うのではなく、声をかけ合う、気遣

い合う、助け合うことで、僕たち自身が生み出している「生きづらさ」は**ずいぶん**解消されるのではないのでしょうか。

(鎌田實「相手の身になる練習」による)

問一 傍線部 a・c・j・k と同じ漢字を含むものはどれか。次の 1～4 のうちから最も適当なものをそれぞれ一つずつ選

マークしなさい。解答番号は 28 ～ 31。

a「ジッセン」

- 1 とびが上空をセンカイしている。
- 2 日本ではセンギョウ農家の減少が著しい。
- 3 皇嗣が天皇の位を継承することをセン祚センソクという。

4 試合前の練習を見て、彼我の実力差を知り、センイを喪失してしまった。

c「ケンリン」

- 1 私の家は公園にリンセツしているので、子どもたちの元気な声が聞こえてくる。
- 2 彼は小さい頃からリンショウ検査技師になりたいと思っていたそうだ。
- 3 殺風景な部屋がイチリンのバラの花で見ちがえるようになった。
- 4 今でも小学校の時に行ったリンカンガッコウのことを思い出す。

j「チュウシヨウ」

- 1 その国の金融の軸となる政府の銀行のことをチュウオウ銀行という。
- 2 彼は二つの会社を取り引きするにあたりチュウカイの労をとった。
- 3 今年はチュウガイによって農作物に大きな被害が出た。
- 4 チュウコクをすなおに聞きなさい。

k「イヤな」

- 1 いつまでも人の話をケンキョに聞く姿勢を持续してほしい。
- 2 あの会社は、社長にセンケンの明があったからこそ、設立数年でIT業界一位になった。
- 3 超高齢化時代を目前にし、社会保障の財源の確保は最大のケンアン事項だ。
- 4 他人のレポートをコピーしたのではないかというケンジをかけられた。

問二

傍線部b「言葉に偏ったコミュニケーション社会」とあるが、このような社会ではどのようなことが起きると筆者は考えているか。次の1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 32。

- 1 言葉をよく理解した書き手(話し手)と読み手(聞き手)との間でしかコミュニケーションが成立しなくなる。
- 2 本当の自分の言葉をもつことが困難になる。
- 3 相手の姿が見えないことよって、ものごとの本質を表現することが可能になる。
- 4 微妙な心の動きを表現することが可能になる。

問三

傍線部d「ずっと多くを受け取って」とあるが、何を受け取っているのか。次の1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 33。

- 1 情報
- 2 気のきいた話
- 3 発信力
- 4 言葉の意味

問四 傍線部 e「横柄」とあるが、どういう意味か。次の 1～4 のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号

は 34。

- 1 下品なようす
- 2 ずうずうしく勝手なようす
- 3 だらしないようす
- 4 いばって無礼なようす

問五 傍線部 f「SNSでのコミュニケーション」とあるが、具体的にはどのようなものだと筆者は考えているか。次の 1～4 の

うちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 35。

- 1 言葉のキャッチボールにはならず、自分がいかにすばらしいボールを投げるかを常に考えているようなもの。
- 2 言葉のキャッチボールをすることによって、相手のことが少しずつわかってくるようなもの。
- 3 相手の身になり、相手に伝わるように話す言葉のキャッチボールのようなもの。
- 4 相手の気持ちの微妙なニュアンスを文字から読み取ることができるような、言葉のキャッチボールとも言えるもの。

問六 傍線部 g「相槌がぶつかったり、間合いが取れなかったり」とあるが、これらは、主としてオンラインでのコミュニケーション

のどのような性格からくるものか。次の 1～4 のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 36。

- 1 相手との物理的距離感がわかりづらい。
- 2 見解の相違が大きくない。
- 3 微妙な空気が読み切れない。
- 4 相手の表情が読み取りやすい。

問七

傍線部h「ますます相手の身になる力がないがしろにされてしまう」とあるが、ないがしろにされてしまうのはどのようなもの(こと)か。次の1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 37。

- 1 どのように言えば相手にウケるかを考えること。
- 2 その言葉を受け取る相手がどう感じるかを思いやること。
- 3 誰に対して発信するのがよいのかを考えること。
- 4 どのように発信すれば相手が「いいね」を返してくれるかということ。

問八

傍線部i「あたりまえ」とあるが、問題文中で使用されているこれと似たような意味の語句はどれか。次の1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 38。

- 1 自信
- 2 常識
- 3 多様性
- 4 個性

問九

傍線部j「僕たち自身が生み出している「生きづらさ」とあるが、この「生きづらさ」はどのようなことに起因しているのか。次の1～4のうちから最も適当なものを一つ選びマークしなさい。解答番号は 39。

- 1 逃げ場のないネットやSNSによる言葉の暴走にブレーキをかけること。
- 2 SNSやオンラインでの発信力を身につけることが重視される現代社会。
- 3 自分が発信した言葉に「いいね」を返してもらうために、より過激なことを書かなければならないという強迫観念。
- 4 自分の思っている「あたりまえ」があたりまえではないことに気づくこと。